

薩郷小クリーン作戦

10月26日、薩郷小学校の児童によりクリーン作戦が行われました。この活動は、地域の清掃活動を通して、勤労と奉仕への関心を高めることなどをねらいとして年2回実施しているものです。

学年ごとに分かれ1時間ほど学校周辺のゴミや空きカンを回収した結果、可燃ゴミ2袋、ペットボトル1袋、空カンについてはコンテナ2箱分もありました。

児童の皆さんの活動により、道路が一層きれいになりました。皆さんゴミは必ず持ち帰りましょう。



住宅用火災警報器に係る研修会実施！

常陸大宮市女性防火クラブ連絡協議会

常陸大宮市女性防火クラブ連絡協議会（管内女性防火クラブ4団体で構成）では、来年6月から一般住宅に住宅用火災警報器の設置が義務づけられることから、事前研修会を実施しました。

新築住宅は、来年6月から適用になり、既存の住宅については、常陸大宮市では平成20年6月から適用になります。火災が起きないように注意していても、一瞬のミスで火災は発生してしまいます。火災が発生した場合、いち早く火災に気付くことが大切であり、早く気付くことでぼやの状態で消すことができたり、早期に避難や119番通報を行うことができるというものです。

今回の研修会を受講されたクラブ員は今後、住宅防火対策の活動の一環として住宅用警報器の設置PR活動を含め、一人暮らし老人宅の訪問など、これまでの活動と併せてより一層の活躍が期待されます。



火災による死者数が増加しています。

	平成17年 1月～6月	平成16年 1月～6月	過去との比較
火災 総出火件数	31,478件	33,640件	増 2,162件
火災による死者	1,262人	1,187人	減 75人
住宅火災による死者	705人	昭和54年以降最多	
常陸大宮市消防本部管内での死者数	1人（1月～10月）		

火災出火件数等を全国的にみると、上の表のように、昨年と比較すると火災件数が減少しているにも係わらず火災による死者数が増加しています。

皆さんのご家庭においても、住宅用火災警報器等を設置するなど、火災を早期に発見できるように住宅防火対策に取り組み、火災を無くしましょう。

2005年度

常陸大宮市消防本部防火標語

「確かめるゆとりを持てば
火事はなし」

小田倉玲子